

明石工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	スポーツ科学実習 I	
科目基礎情報							
科目番号	0008		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	実技		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	都市システム工学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	新版保健体育概論(近畿地区高専体育研究会編:晃洋書房)						
担当教員	後藤 太之						
到達目標							
・ 授業に参加して自身の健康増進、体力向上に努める。また、ある程度の自己管理能力がある。 ・ 安全にスポーツを行うための行動がとれる。また、チームで協調、共同することの意義を認識し、そのために必要な行動がとれる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安
出席・授業態度	主体的に授業に参加して自身の健康増進、体力向上に努める。自己管理能力が高い。		授業に参加して自身の健康増進、体力向上に努める。ある程度自己管理能力がある。		授業への参加や自身の健康増進、体力向上に消極的。自己管理能力が高くない。		授業に参加しない。自身の健康増進、体力向上に努めない。自己管理能力が低い。
実技	各種目の練習、ゲームに積極的に参加し、競技力が非常に高い。また、ゲーム等に大きな影響力を持つ。		各種目の練習、ゲームに積極的に参加することができる。また、その技術を身に付けている。		各種目の練習、ゲームに参加することができる。		各種目の練習、ゲームに参加しない。
リーダーシップ	リーダーの役割をよく理解し、チームワーク力を高めることができる。		リーダーの役割を理解して担う、もしくは引き受けることができる。		リーダーの役割を理解しているが、その役割を担うことはない。		リーダーの役割を理解していない。またその役割を担うこともない。
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育目標 (A) 学習・教育目標 (B)							
教育方法等							
概要	スポーツを日常的に取り入れる習慣を身に付けてもらうべく、その楽しさや奥深さをさらに知ってもらいたい。この授業は、主体的、積極的に参加する姿勢を求めている。グループを作り、リーダーが中心となって授業内容の立案、検討、実施をすべて行ってもらう。実施可能な種目は以下の通りである。野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、サッカー、フットサル、バスケットボール、バドミントン						
授業の進め方・方法	下級生で覚えたルールやゲームの進め方、習得した基本技術を基にゲームを通してさらにスキルアップしてもらいたい。また、リーダーを中心にチームで協調、共同しながらチームワーク力を高める楽しさも体験してほしい。受講学生が主体的に、安全かつ雰囲気の良い授業となるような取り組みをし、担当教員がそのサポートをするような授業作りをしたいと考えている。						
注意点	・ トレーニングウェア、運動靴を着用すること。 ・ アクセサリー類、時計、その他不必要な物の着用や持ち込みを禁止する。 ・ 遅刻は開始20分までとする。20分以後の参加は認めるが欠席扱いとする。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス、野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、サッカー、フットサル、バスケットボール、バドミントン(A)			この授業の目的、目標を理解する。希望種目に分かれチームを作り、リーダーを選出する。	
		2週	野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、サッカー、フットサル、バスケットボール、バドミントン(A)			リーダーを中心に準備体操、練習、ゲームを行い、授業の振り返りを行うことができる。	
		3週	野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、サッカー、フットサル、バスケットボール、バドミントン(A)			リーダーを中心に準備体操、練習、ゲームを行い、授業の振り返りを行うことができる。	
		4週	野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、サッカー、フットサル、バスケットボール、バドミントン(A)			リーダーを中心に準備体操、練習、ゲームを行い、授業の振り返りを行うことができる。	
		5週	野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、サッカー、フットサル、バスケットボール、バドミントン(A)			リーダーを中心に準備体操、練習、ゲームを行い、授業の振り返りを行うことができる。	
		6週	野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、サッカー、フットサル、バスケットボール、バドミントン(A)			リーダーを中心に準備体操、練習、ゲームを行い、授業の振り返りを行うことができる。	
		7週	野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、サッカー、フットサル、バスケットボール、バドミントン(A)			リーダーを中心に準備体操、練習、ゲームを行い、授業の振り返りを行うことができる。	
		8週	中間試験実施せず				
	2ndQ	9週	野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、サッカー、フットサル、バスケットボール、バドミントン(B)			希望種目に分かれチームを作り、リーダーを選出する。	
		10週	野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、サッカー、フットサル、バスケットボール、バドミントン(B)			リーダーを中心に準備体操、練習、ゲームを行い、授業の振り返りを行うことができる。	
		11週	野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、サッカー、フットサル、バスケットボール、バドミントン(B)			リーダーを中心に準備体操、練習、ゲームを行い、授業の振り返りを行うことができる。	
		12週	野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、サッカー、フットサル、バスケットボール、バドミントン(B)			リーダーを中心に準備体操、練習、ゲームを行い、授業の振り返りを行うことができる。	

		13週	野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、サッカー、フットサル、バスケットボール、バドミントン(B)	リーダーを中心に準備体操、練習、ゲームを行い、授業の振り返りを行うことができる。
		14週	野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、サッカー、フットサル、バスケットボール、バドミントン(B)	リーダーを中心に準備体操、練習、ゲームを行い、授業の振り返りを行うことができる。
		15週	野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、サッカー、フットサル、バスケットボール、バドミントン(B)	リーダーを中心に準備体操、練習、ゲームを行い、授業の振り返りを行うことができる。
		16週	期末試験実施せず	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	出席・授業態度	実技	リーダーシップ	合計	
総合評価割合	75	15	10	100	
基礎的能力	75	0	0	75	
専門的能力	0	15	0	15	
分野横断的能力	0	0	10	10	